

北海道文化奨励賞

きた むら きよ ひこ
北 村 清 彦

美学・芸術学における日本を代表する研究者の一人として精力的に研究活動を行い、本道ではほとんど未開拓であった学術分野の普及に貢献。平成 15 年には作家と研究者からなる「北海道芸術学会」の創設を主導し、以後、研究発表や講演会、シンポジウム、学会誌『北海道芸術論評』などを通じて学術成果を広く社会に公開している。

また、北海道大学大学院文学研究科に「芸術学講座」を設置することに尽力し、長く講座主任を務め、同氏の教育・研究指導を受けた多くの学生が今日、各地の博物館、美術館等で専門職として活躍するなど、本道の芸術文化の振興に貢献している。

◎受賞者の主な略歴

- H8 北海道大学文学部助教授（～H12）
- H9 道立近代美術館収蔵作品選定評価協議会委員（～現在）
- H12 北海道大学大学院文学研究科教授（～R元）
- H15 北海道芸術学会副会長（～R3）
- H18 第 58 回美学会全国大会実行委員会委員長（～H19）
- H19 札幌芸術の森美術館作品選定委員会委員（～H25）
- H19 札幌芸術の森美術館専門委員会委員および委員長（～R3）
- H24 札幌大通地下ギャラリー500m美術館専門委員会委員長（～H29）
- H26 札幌文化芸術円卓会議座長（～H27）
- H28 札幌文化芸術交流センター企画専門委員会委員長（～R2）
- H29 「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」文化芸術部会委員（～現在）
- R元 北海道大学院文学研究院教授（～R2）
- R元 PMF 将来ビジョン検討委員会座長（～R2）
- R2 北海道大学院文学研究院特任教授（～R3）
- R2 北海道文化財保護審議会委員（～現在）
- R2 北海道大学名誉教授（～現在）
- R3 道立近代美術館協議会会長（～現在）